

令和 8 年 3 月定例会一般質問 要約版

質問者 蓑原 敏朗 議員

【第 6 次長期総合計画について】

問 1

議員：第 6 次長期総合計画、後期基本計画を基に尋ねる。人口は減少継続とあるが、人口減少を止め持続可能なまちづくりに繋げると理解。このままでどんなまちになるか。

町長：地域経済縮小コミュニティ維持、行政サービス低下を招く。社会減は安定雇用創出が有効。自然減は、子育て支援や教育環境充実、特に新中学校統合は重要。

問 2

議員：正確な現状認識で対策も見える。人口減は最大懸念事項で計画、基本構想を実施計画に繋げるべき。

町長：そのとおり。

問 3

議員：人口は最も考慮とある、目標人口設定を。

町長：行政サービス、コミュニティ、地域経済維持には 1 万人が限界。

問 4

議員：広域連携の強化とある具体案は。

町長：決まっていない。

問 5

議員：文科省は公立小中学校の統廃合手引き再検討に着手報道。学校規横は、12 学級～18 学級、通学距離は小学校 4 キロ、中学校 6 キロをマイクロバス利用で、概 1 時間以内に変更。自治体超連携も謳い、町の中学校の統合にも影響、動きは承知か。

教育長：公立小中学校の適正規模・適正配置等の手引き改定は行政説明で聞いた。広域化の話があった。全国では複数自治体共同運営もある。周辺自治体は、学校の在り方の検討、情報交換し、現時点で広域連携の学校統廃合検討はない。

問 6

議員：広域連携等で人口減少に拍車では本末転倒。

町長：各町の意見を踏まえ取組む。

問 7

議員：計画は立派だが実行が伴わねば無意味。シティプロモーションの意図は。

町長：取組を見直し、移住定住に繋がる本町の魅力を伝える方法を工夫する。

問 8

議員：PR は必要、実態と PR が乖離では結果的にマイナス。町の魅力価値向上に尽力を。市長村ランキングがあるが、努力の積み重ねがランキングに繋がる。入学祝い金等中止は逆行。頑張る姿勢が魅力向上に繋がる。

町長：公約が、「輝き魅力あふれるまちづくり」町の魅力を高める。シティプロモーションは見栄えのよい情報発信ではいけない。奨励金等は、国支援充実で、祝金は見直した。

問 9

議員：関係人口創出は町政にどう活かすのか。

町長：町との接点を繋ぎ地域のファンを育てるステップが必要。二地域居住や移住、地元産業を支える関係へとロードマップを描き管理していく。

問 10

議員：定住人口に飛がるのか定住人口を重視すべき。町の人口は自然動態の減が大きかったが、最近社会動態減が増え、一昨年が－93 人、昨作年は－108 人と、3 桁の減少。今年も 1 月から 4 月の 4 カ月で既に－69 人。自然動態は－64 人で、4 カ月間では社会動態被が大きい。転出者対策に注力を。

町長：現状を踏まえ対策を打つ。

問 11

議員：転出者を対象の理由把握は。

まちづくり課長：把握していない。

問 12

議員：やるつもりはないのか。

まちづくり課長：転出者の協力が難しい。考えていきたい。

問 13

議員：推測だが食べていける仕事がないからでは。農業中心の経済的好循環を産出する必要。他に方法があれば、教示を。

町長：第 1 次産業、とりわけ農業の所得向上第一で商工業等にも繋がる。第 1 次産業、農業、畜産業を支援していく。

問 14

議員：後継者難は儲かるための制度仕組み構築、支援が必要。

町長：儲かる農業が一番大事。高付加価値化や販路拡大、スマート農業の導入等を推進し、所得確保を支援する。

問 15

議員：具体性を持って頑張る農家は小規模でも基盤整備等町単独で応援が必要。地域営農者は高齢化、生産基盤へ行政の関与の目に見える応援が必要。

町長：儲かる農業に尾鈴地区本部と打合わせ描いていく。行政と農家の考えの擦り合わせが厳しい。農業所得向上は当事者の意見も踏まえ対策を打つ。

問 16

議員：プッシュ型支援が必要。行政が察知し、一步、半歩前を行って、色んな調査、情報等提示が必要。気候も変動でやり方が変化。和歌山県みなべ町、南高梅の日本一の生産地だが、マカダミアナッツの栽培に取り組んでいる。日本一の産地もトライしている。農家は毎年が勝負で研究と調査の余地も少なく行政が役割分担を。

町長：農家との対話を重視して行う。

問 17

議員：基本目標 3 で関連事業関連計画を掲示し、送料無料助成事業はない。生産者等に新たな意欲を喚起させる良い事業だった、特に農家には行政支援で希系や勇気の事業だった。

町長：送料助成事業は一定の効果と認識。令和 8 年度をもって目的達成度、公平性、公益性等を検証し終了判断。過去実施の事業の成果を考慮し持続可能支援策を検討する。

問 18

議員：具体的施策に初めて多くの電話を頂いた。中に「町長は代替事業を考慮とあった、本当か」という質問があった。事実か。

町長：検証し代替があれば検討。「やる」という事でなく、今後検討する。

問 19

議員：送料無料事業を再検討する場合、継続意見多数を念頭に再生を。真面目な農家が継続システムでないと川南町農業の将来は暗い。

町長：公益・公平等を考え、バランス等も含め、生産者事業者支援は考えていく。

問 20

議員：人口減少対策と繋がる産業対策は必要。早期発見・早期対策で。

町長：時機を失しないよう検討。